

乳歯そろってから開始も

【問い】10月で3歳になった娘ですが、2歳3カ月の時に歯科で「反対咬合(こうごう)」の診断を受けました。「3歳になったら矯正を始めましょう」と言われましたが、どのような方法になるのでしょうか。自然治癒することはないのでしょうか。(長崎市、35歳女性)



【答え】一般に「受け口」とも呼ばれる反対咬合。下の歯が上の歯より前に出てくるかみ合わせの状態を言います。乳歯列の時の治療には大きく分けて三つの方法・考え方があります。

一つ目は、小さなプラスチックでできた、取り外し可能な装置を口腔(こうくう)内に装着して、積極的に反対咬合を治療する方法です。治療効果が上がれば乳歯列時に反対咬合を改善することが可能です。しかし、症例が適応ではなかったり、患者さんが装置を嫌がって口に入れなかったりすると改善されません。

二つ目は、反対のかみ合わせになるように誘導している乳歯を調整すること、ある程度改善する方法です。完全に乳歯の反対咬合を治療することはできませんが、永久前歯に生え替わる小学校低学年から始まる本格的な矯正治療の手助けとなります。

三つ目は、永久前歯の生え替わりを待って治療を開始する方法です。症例によっては乳歯が反対咬合でも、永久歯では正常なかみ合わせになることもありま

す。本格的な治療は永久前歯に生え替わる小学校低学年からでも十分なケースも多いようです。

ただ、顎の骨の大きさと形に問題がある骨格性反対咬合が疑われるケースでは早期に本格的な矯正治療をしたり、逆に外科的治療を前提として経過を見ていたりする場合があります。

治療の開始時期としては全ての歯が永久歯に生え替わった中学生ごろでは遅いようです。一般的に永久前歯が生え始める小学校低学年が一番多いですが、乳歯列完成(3歳)以降から開始する場合もあります。

いずれにしろ、どの治療方法を採用するか、かかりつけの歯科医師と良く相談してください。セカンドオピニオンを求めて、矯正治療を行っている他の歯科医院を受診するのも良い方法だと思います。

(県歯科医師会医療情報委員会)

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒855021-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80200ながさき」で検索できますので参考にしてください。

受け口の矯正